

昭和四十一年卒年 今村圭一

赤とんぼ

夏の高校野球選手権大会が佳境に入ってくる。七月中旬頃になると、長崎市営大橋球場には赤トンボが飛び交います。一塁から二塁の後には勝負の厳しさとは関係なく、のんびりと遊ぶ赤トンボに心が癒やされました。球場の横を流れる浦上川から飛んで来たのでしようが、炎天下の陽射しの下で審判員として、心身ともに疲れている俺にとって、目で追う赤トンボは一服の清涼剤でありました。月日が過ぎて県営球場（Big N）になっても赤トンボはやってきました。天然芝が人工芝に変わっても赤トンボの遊び場はかわらなかつたのです。激戦が続く球児達にも赤トンボの姿はのこっているかもしれません。